

平成30年(2018年)11月20日(火曜日)

# 明るく力強く成長を

## 地域と連携した学校活動を展開

### 士別東高校 1245人の卒業生送り出す 創立70周年

士別東高校(谷川敬一校長、19人の創立70周年記念式典が18日、同校体育館で行われた。式典には来賓や在校生のほか、歴代校長や教職員、同窓生らが出席し、これまでの歴史を振り返っていた。(小林栄夫)

同校は1948年(昭和23年)12月、北海道士別高等学校上士別分校として設置認可され、定時制家庭科を開設。52年に家庭科を廃止し普通科を開設、同年12月に上士別村立北海道上士別高等学校、62年に北海道士別東高等学校と校名を変更した。95年には教養科目として「福祉」を導入、翌年にはホームヘルパー1級科1間口、70年で1245

5人の卒業生を送り出した。この70周年が次の時代への良いスタートとなることを願っている。谷川校長は「真理、動労、自主」という精神を胸に、これから生徒たちが社会に踏み出し、活躍することを期待している。PTA会長に感謝状が贈

られた。また来賓を代表し、牧野勇司市長が「時代を担う人間として勉強やスポーツに励み、未来に向かって明るくたくましく成長されることを願っています」とあいさつした。生徒代表として生徒会長の平賀麻衣さんが「元



記念式典で式辞を述べる谷川校長

#### 北海道士別東高等学校 祝 創立70周年記念式典



3年生による上士別宝来太鼓の演奏

式典終了後には3年生が上士別宝来太鼓を演奏。これまでの練習の成果を発揮し、力強い演奏を出席者に披露していた。このあと市民文化センターで記念講演会を開催。発達障がい研究と治療のエキスパートとして名高い医療法人社団倭会(こども)そだちのクリニックむすびめ(札幌)院長の田中康雄氏が「士別東高校の存在、高校に通うということを考える」をテーマに講演した。